

平成 25 年度決算

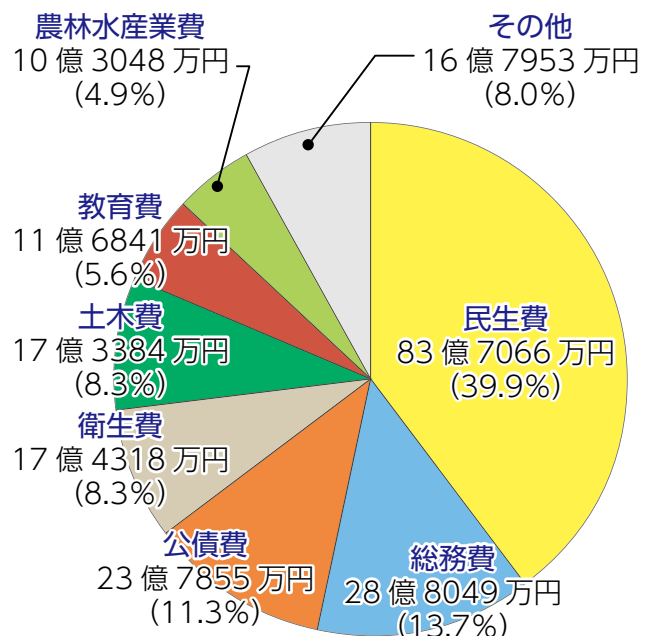
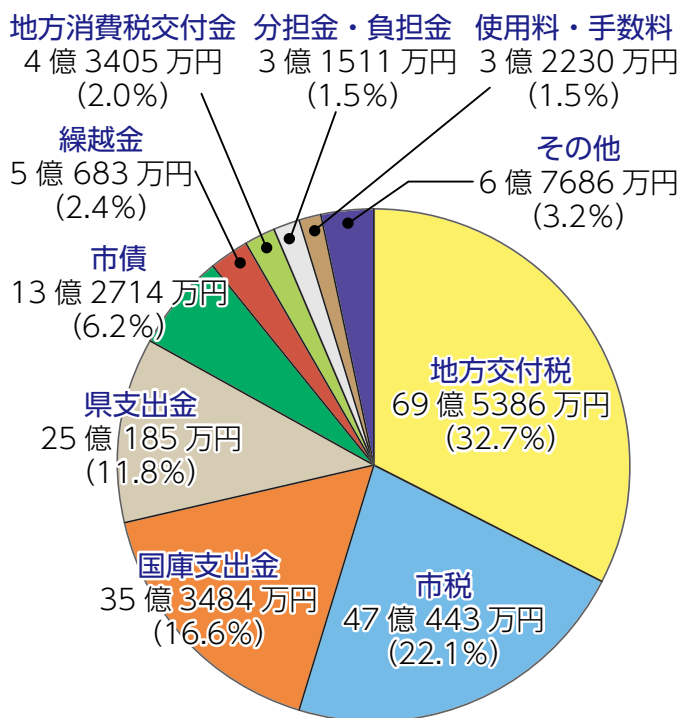
市が 1 年間にどれだけの予算を使って、どのような事業を実施したのか決算内容と主な事業について説明します。

▶問い合わせ先 総務課財政班 (☎ 63-1111 内線 152)

一般会計決算状況

次のとおり、平成 25 年度決算は歳入、歳出ともに前年度より大きく減少しました。

「市民目線に立った、オンリーワンの島原市」の実現に向けて、さらなる収支改善に努め、健全な財政運営に取り組みます。



歳 入

212 億 7726 万円

平成 25 年度の歳入総額は、212 億 7726 万円で、前年度に比べ 13 億 256 万円 (△ 5.8%) の減少となりました。

主な増減理由

市民税、たばこ税などの増に伴う「地方税」の増、「国庫支出金」の増があったものの、普通建設事業費の減少に伴う「市債」の減、「繰入金」の減や「県支出金」の減などにより、全体では歳入減となりました。

歳 出

209 億 8514 万円

平成 25 年度の歳出総額は 209 億 8514 万円で、前年度に比べ 10 億 8785 万円 (△ 4.9%) の減少となりました。

主な増減理由

地域の元気臨時交付金の交付に伴う「積立金」の増、「補助費」の増や「扶助費」の増があったものの、大型建設事業の終了に伴う「普通建設事業費」の減、緊急雇用創出事業の縮小に伴う「物件費」の減、「投資及び出資金・貸付金」の減などにより、全体では歳出減となりました。

島原市の財政状況を家計簿に置き換えると

決算状況をより分かりやすくするため、それぞれの項目を市民 1 人当たりの額に置き換え、身近な家計簿で表しました。

収入（市民 1 人当たり）		
項 目	決算上の内容	金 額
給料	市税・手数料など	11 万 4754 円
親からの援助	国・県からの交付金	28 万 7962 円
預金の引き出し	他会計や基金からの繰入金	38 円
借り入れ	市債	2 万 7956 円
前月からの繰り越し	前年度繰越金	1 万 676 円
雑収入	諸収入、寄附金など	6204 円
合 計		44 万 7590 円

- ・貯蓄残高（基金残高）15 万 7007 円
- ・借金残高（市債残高）39 万 879 円
- ※人口は 47473 人（平成 26 年 3 月 31 日現在）として算出しています
- ※家計簿の各項目の額は、総務省が定めた地方財政統計上の数値を使用しているため、決算書の総額とは若干の相違があります

支出（市民 1 人当たり）		
項 目	決算上の内容	金 額
食費	給与、議員報酬など	6 万 1858 円
日用品や公共料金など	旅費、光熱水費、郵便料・電話料など	5 万 9524 円
家電などの修理費	維持補修費	3646 円
医療費など	児童手当、生活保護費、福祉医療費など	10 万 5986 円
家屋の増改築	普通建設事業費など	5 万 1310 円
ローンの返済	公債費	5 万 103 円
預金	積立金、貸付金など	8614 円
町内会費など	一部事務組合負担金など	5 万 7555 円
子どもへの仕送り	他会計繰出金	4 万 2839 円
合 計		44 万 1435 円

島原市の財政は健全ですか？

地方公共団体の健全性に関する指標として、次の健全化判断比率を示す 4 つの判断指標と資金不足比率があります。島原市はいずれの指標も基準を下回っており、健全な財政運営を行っています。

- ①「実質赤字比率」は、一般会計などの実質的な赤字額が、基準的な収入に対して、どれくらいの割合になるかを示しています。
- ・早期健全化基準（黄信号ライン） 13.07%
 - ・財政再生基準（赤信号ライン） 20.00%
- ⇒赤字はありません

- ②「連結実質赤字比率」は、すべての会計の実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示しています。
- ・早期健全化基準（黄信号ライン） 18.07%
 - ・財政再生基準（赤信号ライン） 30.00%
- ⇒赤字はありません

- ③「実質公債費比率」は、一般会計などでの実質的な借入金返済額が、標準的な収入に対して、どれくらいの割合になるかを示しています。
- ・早期健全化基準（黄信号ライン） 25.0%
 - ・財政再生基準（赤信号ライン） 35.0%
- ⇒ 6.2%（対前年度比△ 0.8%）

- ④「将来負担比率」は、一般会計などが抱える実質的な負債残高が、標準的な収入に対して、どれくらいの割合になるかを示しています。
- ・早期健全化基準（黄信号ライン） 350.0%
 - ・財政再生基準（赤信号ライン） —
- ⇒ 0.2%（対前年度比△ 7.7%）

「資金不足比率」は各公営企業の資金不足額が、事業規模に対して、どれくらいの割合になるのかを示しています。⇒資金不足はありません

平成 25 年度に実施した主な事業

萩が丘住宅整備事業

(事業費 4 億 2963 万円)

萩が丘住宅建て替え事業 (第 7 期) で 3 棟 21 戸を整備しました。



三会・松尾漁港海岸保全事業

(事業費 1 億 6413 万円)

台風時などの越波被害を防止するため、平成 23 年～ 27 年度にかけて消波ブロックを設置しています。



陸上競技場改修工事

(事業費 1 億 5877 万円)

公式の陸上競技会を開催できる施設として、施設整備を実施し、日本陸上競技連盟第二種公認陸上競技場として継続公認されました。



霊南山ノ神線整備事業

(事業費 1 億 777 万円)

市中心部の円滑な道路交通を確保するため、都市計画道路霊南山ノ神線の測量・設計・建物など調査の委託および橋梁工事を実施しました。



島原城跡公園災害復旧工事

(事業費 4081 万円)

平成 24 年 6 月に梅雨前線豪雨により被災した島原城跡公園の石垣復旧工事を実施しました。

財務会計システム導入事業

(事業費 2081 万円)

伝票や財務書類等の電子化、バーコードリーダーの利用による手作業の省略化などを図るため、財務システムの導入事業を実施しました。

平成 25 年度決算 特別会計

特別会計とは特定の事業を行うための会計区分です。島原市には平成 25 年度末で 6 つの特別会計があります。(平成 26 年度から交通災害共済事業会計を廃止し、有明町簡易水道事業会計を水道事業会計に統合しました)

・歳入決算額 88 億 3957 万円 (前年比 0.9%減)

・歳出決算額 86 億 9956 万円 (前年比 0.6%減)

各特別会計の歳入額・歳出額は次のとおりです。

特別会計名	歳入額	歳出額
国民健康保険事業	75 億 1650 万円	74 億 2048 万円
温泉給湯事業	8309 万円	8058 万円
交通災害共済事業	1366 万円	954 万円
島原市都市計画事業安中土地区画整理事業	82 万円	2 万円
有明町簡易水道事業	6 億 7683 万円	6 億 5090 万円
後期高齢者医療	5 億 4868 万円	5 億 3804 万円

平成 25 年度決算 目的税の使途状況

都市計画税

事業名		決算額
街路整備事業		1 億 777 万円
公債費（都市計画事業債のみ）		3 億 7403 万円
財源内訳	都市計画税	3 億 4393 万円
	国庫・県支出金	1556 万円
	市債	7090 万円
	繰越金	1807 万円
	一般財源など	3334 万円

入湯税

事業名		決算額
環境衛生施設整備		17 万円
鉱泉源の保護管理施設整備費		2200 万円
消防施設整備費		2758 万円
観光振興費		670 万円
観光施設整備費		5235 万円
財源内訳	入湯税	1509 万円
	国庫・県支出金	3265 万円
	一般財源など	6105 万円